

大志ゆめみん



〒390-0851 松本市島内 3986 Tel.0263-40-1367

文責：校長

第2回つくも草コミュニティスクール（信州型コミュニティスクール）

【松中生と語る会】10月8日(水)

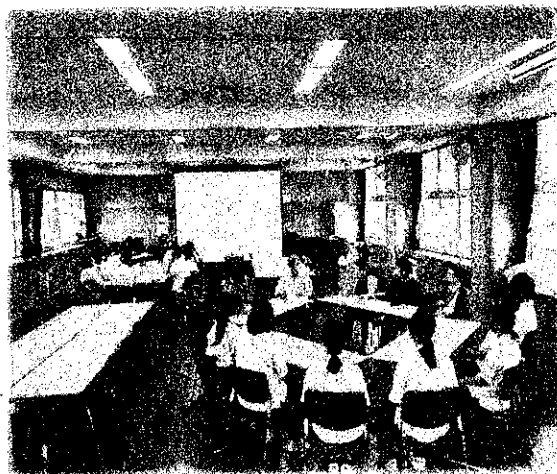
【信州型コミュニティスクール（信州型CS）について】

長野県では各学校が地域との間に築き上げてきた土台の上に、(1)学校運営参画(2)協働活動(3)学校評価機能を一体的・持続的に実施する仕組みを「信州型コミュニティスクール（信州型CS）」として構築し、学校と地域住民の協働により、子どもたちの豊かな成長を支えるため、「地域とともにある学校づくり」を進めています。

現在、長野県内すべての公立小中学校（R6.4.1 現在 531 校）で信州型CS または国型CS（法律に基づく学校運営協議会制度を導入している学校 R6.4.1 現在 134 校）が導入されています。

本校のつくも草コミュニティスクールはこれにあたるもので、例年 年3回行われています。今回の第2回では生徒の様子や学校の取組について話題にした後、学校評価アンケートの依頼や来年度の学校グランドデザイン策定に向けての今後の取組について説明させていただき、ご意見をいただきました。

更に今回は会に先立ち、民生児童委員の方にも加わっていただき、各学級の代表生徒と一緒に「松中生と語る会」を行いました。



語る会は中学生が学校生活の様子や日頃考えていること、将来への思いなどを地域の方に伝え、地域の方の願いや思いを聞きながら意見を交わす。地域の支えのもとに自分たちがあることを理解し、よりよい生活や地域づくりへの意欲を高めるとともに、学校の取組を地域に理解していただく貴重な機会と考えております。

当日は4つのグループに分かれ、緊張した面持ちの生徒たちでしたが、地域の方々が話題をふってくださいたり、ご自身のお話をしてくださるのを伺ったりしているうち、少しずつ場が和み、途中笑顔も見られ、自分の考えや思いを語る姿が見られました。そんな様子を見て、こういう場

を増やし、松島中学校を一層「地域とともにある学校」に近づけていきたいと強く感じました。

【会を終えての感想】抜粋

〈生徒(1～3年)〉

◇地域の人たちと話し合うことができて、なかなかできない体験をすることができました。年も離れている人もいましたが、そんな人たちと話ができて自分の考え方が変わった部分もあって、他の人にはできない珍しい体験ができて楽しかったです。

◇今日は松中生と語る会に参加しました。地域の人と話をしているいろいろなことを教えてもらいました。みんなあいさつをされると嬉しいということを知りました。これからは通りかかった人「全員」にあいさつをしたいです。

◇私たちのグループでは将来について話し合いました。将来はどこに住みたいとか、将来何になりたいかなどを話しました。このグループの人たちはみんな将来長野県に住みたいそうです。この話をして、やっぱり長野県っていい所だと改めて思いました。将来何になりたいかという話の時は「いろんなことを経験してみるといい」というアドバイスをしてくれました。あまり発言はしなかったけど、地域の人たちの話を聞いて、将来のことや地域について考えるきっかけになってよかったなと思います。

◇私は緊張して少ししか喋れなかったけど、地域の人がたくさん話してくれたおかげでとても楽しい時間になりました。

将来の夢は決まっていたけど、「まだゆっくり考えてもいいんだよ」と言ってもらえて、たくさんやりたいことを見つけていきたいなと思えるようになりました。このように地域の方とお話できたのは初めてで楽しかったので、またこのような機会があったら参加したいなと思います。

◇部活のことや将来のこと等を、人生の先輩たちに聞くことができてよかった。他にも聞いてみたいことがあったけれど、全部は聞けなくて残念だった。昔バレーは9人制だったことや、バスケット部に40人もいたこと、松中の剣道が強くて何回か優勝したこと等、私たちが知らなかったことを知れた。逆に民生委員の方々も制服の太宰Nが変わったこと等、初めて知ったことがあったようで良かった。「朝や帰りにあいさつをしてくれる子たちが多くてうれしい」と言っていたので、これからも続けていきたい。

〈PTA・地域の皆さん〉

◇それぞれ将来何になりたいかについて、具体的な目標をお持ちなのに驚きました。医療や福祉への関心が高く、時代を反映していると感じました。また服飾デザイナーとか、動物関係の分野を専攻するなど、とても素晴らしい傾向もくみ取れました。今の目標は必ずしもそうはいかないでしょうが、自分で考えていく力は十分あるのに心強く思いました。

◇子どもたち皆が素直に話に耳を傾けていてよかった。また自分の考えを持っているところもあるのが知れた。郷土愛についても皆が地元に関心を持っていて、離れる気が無いようなので安心できた。時間が少ないので、もっと子どもたちと話す機会があってほしい。

◇地区により防犯灯、街灯がない所、少ない所があり女生徒からの意見あり。それぞれの帰宅後の生活のすごい方をお聞きしたが、犬の散歩や風呂掃除と言った手伝いをきちんとされている様子で感心した。授業はタブレット等で一つの事項につき瞬時に皆の意見が知る事ができ、時短となり昔とはすごい違いと思えた。決め事の場合、多数決で決定される事の恐さ、少数意見が落とされるところの難しさも感じました。地区の中学生は進んであいさつをしてくださり、大人も見習いたいとまで思う場面もあります。

◇私の近くには子どもが少なく普段話したことがないのですが、今日の子どもたちははっきりと物事がいえて、考え方もしっかりしていました。ゲームばかりやっているといたら、やっていないみたいですごいなと思いました。皆さん日常でもあいさつがしっかりできているようで、地域とのつながりも大丈夫だと思いました。

地域と共に 本校では、「地域に開かれた教育課程」の実現を目指し、地域の方々と共に子どもたちの学びをつくる取組を進めています。地域の自然や産業、人との関わりの中で、子どもたちは多くを感じ、学び、成長しています。学校だけではできない貴重な体験を支えてくださる地域の皆様に、心より感謝申し上げます。今後も、地域とともに歩む学校づくりを進めてまいります。

第2回学校開放日を下記の日程で実施します。保護者、地域の皆様にもお忙しいところ恐縮ですがご都合をつけ、ぜひご参観いただきたいと思います。

11月25日(火)～12月1日(月)の平日8:10～16:20 (12:35～13:10は見学をご遠慮ください)